



住んでよかった朝来市に ～住んでいる人にやさしいまちづくりを!～



ご挨拶

体温を上回るような日もあり猛暑が続いております。

皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。熱中症予防等にくれぐれもご注意されてご自愛をいただきますようお願い致します。

6月の一般質問では「第4次朝来市男女共同参画プラン～WITH PLAN」をもとに質問をさせていただきました。

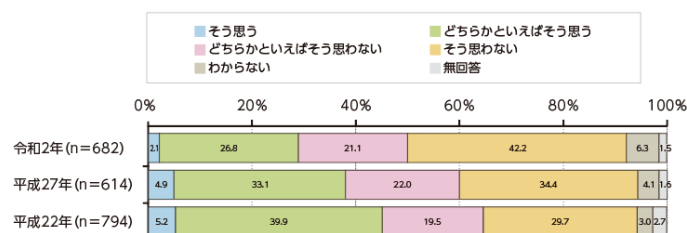
令和6年6月定例会 ● 一般質問 〈一部抜粋〉

## 第4次朝来市男女共同参画プラン～WITH PLANについて

内閣府の男女共同参画推進本部が男女共同参画社会基本法の公布施行日の6月23日から29日までの1週間を男女共同参画週間とし、様々な取り組みを通じて基本法の目的や基本理念についてその理解を深めることを目指しています。男性と女性が職場や学校、地域、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するためには政府や地方公共団体だけでなく、私たち一人一人の理解と取り組みが必要です。

「第4次朝来市男女共同参画プラン概要版」に掲載されたアンケート結果について (以下の図は同概要版より)

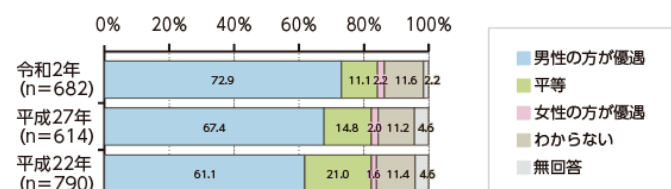
## 「男は仕事、女は家庭」という考え方



**答弁 市長** 比較すると各年代ともに「男は仕事・女は家庭」という意識は低くなっている状況だ。

**質問 関** 男性の優遇感が10年間で11ポイントも増加しているがどう分析するか。

## 政治の場



**答弁 市長** 詳しい分析はできていない。この「政治の場において男性が優遇されているか」のアンケートは国、県でも実施されており、優遇されていると感じる割合は内閣府の調査では79%、兵庫県の調査では80%と朝来市の73%と比較して高く、いずれも増加している状況である。

**質問 関** 平成30年5月に政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が公布、施行された。地方公共団体の責務としてどう取り組むか。

**答弁 市民生活部長** 法第3条において、国及び地方公共団体は基本原則に則り、政党その他の政治団体の政治活動の自由及び選挙の公正を確保しつつ、政治分野における男女共同参画の推進に関して必要な施策を策定し、及びこれを実施する責務を有するとされており、具体的には、①実態の調査及び情報の収集②啓発活動③環境整備④人材の育成等を行うこととされている。本市としては政治分野を含め、あらゆる分野における女性の参画拡大が多様な民意の反映のために極めて重要であることから広く啓発をしていきたいと考えている。

**質問 関** 女性が政治に参画し活躍することは社会生活の質をもう一段高いレベルにつなげることができると考える。政治は生活そのものだ。女性だけでも男性だけでも不十分。男女、様々な年齢の多様な人材による意思決定が政治の場ではなれば、この困難を多く抱えた現代を切り開いていけるのではないか。

研修や経験を積み、その集大成の一つとして、女性模擬議会を実施してはどうか。

**答弁 市長** 女性の御意見を直接伺う場として有益であるとの認識を持っているので今後検討したい。



**質問 関** 本市の管理職98名のうち、管理職となる副課長以上の女性職員は29名と伺っている。今後、市として女性管理職の登用についてどう考えるか。

**答弁 企画総務部長** 本市においては女性職員が仕事と家庭生活を両立しながら個性と能力を十分に発揮できる職場を目指すとともに積極的なキャリア形成への支援を行っていきたくと考えている。具体的には①女性活躍の職場環境を整えるために男女双方によるワーク・ライフ・バランスを実現する②能力開発と職域拡大を図るため女性職員のキャリア形成に資する研修機会を充実させる③女性職員の配置が少なかった職務やポストへの積極的な配置など多様な職務機会を与える④女性職員のキャリア形成に向けた適切な育成指導が行えるよう管理職のマネジメント能力の向上を図るなどの取組により女性職員の能力開発をさらに促進し、管理職員への登用拡大につなげていきたいと考えている。

**質問 関** 女性リーダー養成講座の開催を検討してみているかどうか。

地域活動や社会活動において女性自らが意思決定しながら活動に参画できるように環境整備を推進するとともに女性自身も力量を高めていく必要がある。そのキャリア形成支援策の一つとして、女性リーダー養成講座などが他の自治体では行われている。(小野市の「おのウィメンズ・チャレンジ塾」や、加西市の「ウィメンズネット加西塾」など)

4月に「養父市女性リーダー養成講座」が開講され、但馬内の女性議員で私を含む6名が参加した。講座では、自分たちの暮らしにまつわる様々な分野において男女が共に関わり、企画・決定の場に多様な考えが反映されることを目標に、学びの場や考えを共有する繋がり場の提供を行うとされていた。自治会や委員会、NPOの団体代表など男性メンバーの中でも女性が一個人としてその能力を遺憾なく発揮して発言したり、リーダーシップを取って経験を積む場としてのリーダー養成講座は奥ゆかしさが美德とされた日本古来の女性像の意識から一歩踏み出すためにも必要ではないか。

**答弁 市民生活部長** 地域社会における様々な分野において男女が共に関わり、企画から決定の場に多様な考え方が反映されることは持続可能な組織と地域づくりに繋がっている。現状では就業支援や情報発信などの特定分野でリーダー養成講座は実施しているが、先進自治体事例も参考にしながら女性が活躍できる環境整備の一環として女性議会やその前段として女性リーダー養成講座なども開催しながらステップアップしていくことも必要と思っている。

**質問 関** 能登半島地震被災地へ災害派遣された女性職員2名の活躍は女性の視点に立った本市のさらなる地域防災力向上への取組みにつながると考えるがどうか。

責務とはいえ、非日常の慣れない環境下での職務遂行と災害地域での生活は限定的な日数だったとはいえ大変な思いだったと察し、改めて敬意を表したい。

**答弁 危機管理部長** 現在の防災会議委員構成は総数28名、うち女性委員は朝来市民生委員児童委員連合会代議員の2名の方に参加いただいている。令和2年度に開催した朝来市防災会議第4次朝来市男女共同参画プランの中には男女共同参画の視点に立った地域防災力の向上を図るために防災復興に係る意思決定の場に女性が参画することが重要であり、市の防災会議、災害時の災害復興対策検討への女性委員等の参画拡大を求め、審議会等の委員会の女性割合を高めるというような主要項目で令和9年度の目標は30%以上としている。

**質問 関** 本市の女性消防団への期待する役割は？

**答弁 危機管理部長** 令和6年度の女性消防団員数は35名である。女性団員の主な役割として住宅用火災警報器の普及促進、独り暮らしの高齢者宅の防火訪問、住民に対する防災教育及び応急手当の普及指導等に力を発揮していただいている。消防本部等との連携、また地域の防災教室や訓練等に参加するなど、計画的な活動を自主的に運営できるよう期待している。

阪神淡路大震災の時には性犯罪等もあった。就寝場所やお手洗い・ブース・パーティションの位置、明かりは？廊下は？授乳スペースは？更衣スペースは？などなど。男性の視点だけでは不十分であることも事実だった。男性も女性も子供たちもお互いが守り合うというところで感じたことをためらわず意見し伝えられるようにその力を高めたい。その一助として、リーダー養成講座や研修の場で発表したり、意見を伝える訓練の機会や意見を聞いていただける環境の整備をいただければ大変心強く思う。誰もがお互いを認め合い、自らの意思によって自分らしく安心して生活できるまちづくりを目指すことにしっかりと取り組みたい。



3月、6月、9月、12月には本会議が開催されます。本会議は朝来市CATVでライブ放映や録画放映もありますが、市民のみなさまも是非、傍聴にお越しください。議場でお待ちしております。

関綾乃

令和6年6月定例会  
一般質問はこちら

出典: 朝来市議会HPより



せき あや の  
関綾乃 事務所

〒679-3453 兵庫県朝来市佐養366-2  
TEL 080-7935-3861 FAX 079-668-9750  
E-mail masaayakoro31@yahoo.co.jp

ホームページも是非ご覧ください!

<https://seki-ayano.com> 関綾乃 朝来市

ホームページ facebook Instagram YouTube

